

資 料 編

資料 1. 生物多様性なら戦略 体系図

基本方針

- (1) 科学的知見の集積による生物多様性の保全・再生
- (2) 長期的視野に基づく生物多様性の重要性に関する普及啓発
- (3) 人と自然のつながりの輪の形成
- (4) さまざまな人々との連携・協働

目 標

- (1) 生物多様性の主流化
- (2) 生物多様性の保全と再生
- (3) 生態系サービスの持続可能な利用

短期目標 (2030 年まで)

- (1) 生物多様性センターの機能を持つ拠点を設定し、生物多様性を県民の生活に浸透
- (2) 生物多様性の分析、把握に努め、外来種防除対策や野生鳥獣の保護管理を強化
- (3) 現に絶滅の危機に瀕した種の個体数や生息・生育環境の維持・回復
- (4) 1人1人が行動を変化させ、世代を超えて生物資源の持続可能な利用を行う機運の醸成
- (5) 生物多様性を活用した地域の活性化

中長期目標 (2050 年まで)

- (1) 人と自然の共生を各地域レベルで実現させ、生物多様性の状態が豊かで、そのことを県民が誇りに思っ暮らすことを目指します。
- (2) 豊かな自然環境と伝統ある歴史文化が融和した、美しいふるさと「奈良」を次世代に引き継いでいきます。

行動計画

1. 第1の目標「生物多様性の主流化」

- (1) 生物多様性を調べ、学ぶ取組
- (2) 生物多様性を楽しむ取組
- (3) 生物多様性を活かす取組

2. 第2の目標「生物多様性の保全と再生」

- (1) 重要地域の保全
- (2) 身近な自然環境の保全
- (3) 野生動植物の保護と管理
- (4) 生物多様性保全・再生の担い手育成

3. 第3の目標「生態系サービスの持続可能な利用」

- (1) 農林水産業における取組
- (2) 公共事業・地域開発・企業活動における生物多様性への配慮

資料2. 生物多様性なら戦略（平成25年3月）の目標達成状況

奈良県環境総合計画に準じた指標

頁	掲載箇所		目標数値	現状値
68	1. 第1の目標 生物多様性の保全と再生	(1) 重要地域の保全	①自然公園 県土に占める自然公園の割合 : 17.2% 現状維持	17.2% (R1年度)
68			自然公園利用者数 : 152万人 現状維持	1,525万人 (R1年度)
78		(2) 野生動植物の保護と管理	②希少野生動植物の保護の推進 奈良県レッドリストにおける希少動植物割合 : 12% 現状維持	(A) 奈良県野生生物目録(H29)掲載種 11,222種 (B) 奈良県版RDB(H29)掲載種 1,535種 (B) / (A) = 14% (H29)
86		(3) 森林、里地里山、河川・ため池、都市部における生物多様性の保全	①森林 自然豊かな広葉樹林などの割合 : 38%→40% (H27年度)	38% (R4年度)
86			なら森林ふれあいルート・なら彩りの森林景観の整備 : 20か所 (H27年度) <具体案 : 曾爾村屏風岩・八辻城周辺ほか>	奈良県植栽計画森林・里山分野 : 23か所 (R4年度)
89			②里地里山 里山林の整備箇所数 : 97か所 (H23年度) → 190か所 (H27年度)	234か所 (R2年度) 当該施策は令和2年度で終了。
93			③河川・ため池 多自然型護岸の整備延長の割合 : 35.6% (H20年度) → 37.6% (H27年度)	多自然型護岸という言葉が使われなくなったため、現在値データ無し
93			大和川の水質改善 全国ワースト上位からの脱却および重点対策支川のBOD値5mg/Lの達成 (H27年度)	現在は順位付けがされていないため、大和川の順位は不明。 重点対策支川のBOD平均値 (H22→R3年度) (単位 : mg/L) 菩提川 (菩提川流末) : 6.6→2.9 土庫川 (土庫川流末) : 7.7→4.8 高田川 (里合橋) : 4.6→3.4 岡崎川 (岡崎川流末) : 3.8→4.7 菰川 (菰川流末) : 4.8→2.6
98		(4) 水循環の再生	汚水処理人口普及率 : 83%→87.6% (H27年度)	90.3% (R3年度)
100		(6) 地球温暖化への対応	環境家計簿の普及 : 200世帯 (H22年度) → 4,000世帯 (H26年度)	環境家計簿参加世帯数 : 238世帯 (R2年度) * 環境家計簿はR4年度にNASO (NPO法人奈良ストップ温暖化の会) へ移管
100			家庭用太陽光発電設備設置の促進 : 5,689世帯 (H22年度) → 16,000世帯 (H26年度)	* 奈良県環境総合計画(2021-2025)で設定目標を変更。 再生可能エネルギー導入量目標値 : 584,000KW (R7年度) に対し 進捗 : 240,954KW (H26年度) → 608,640KW (R2年度)
100			2020年温室効果ガス削減目標 : (1990年対比) -25%	* 奈良県環境総合計画(2021-2025)で設定目標を変更。 目標値 : 45.9%削減 (R12年度) [基準年H25年度比] に対し 進捗 : -26.6% (R2年度)

「生物多様性なら戦略」

その他の指標

68	1. 第1の目標 生物多様性の保全と再生	(1) 重要地域の保全	①自然公園	県委嘱の自然公園指導員の増員 ：46人→60人 (H29年度)	令和4年度現在 15人
78		(2) 野生動植物の保護と管理	②希少野生動植物の保護の推進	奈良県版レッドデータブックの改訂 (H28年度)	奈良県レッドリストを改訂し、奈良県版レッドデータブック (H29.3) を発行。また、令和9年3月には三訂版公表予定。
78				特定希少野生動植物の指定数 ：12種→20種 (H29年度)	11種 (R5年度)。専門家より、希少野生動植物の指定が増えることは、危機的な状況の生き物が増えることであり、指標として不適切との意見がありました。
78				希少野生動植物保護巡視団体などの認定数 ：2団体→5団体 (H26年度)	1団体 (R5年度)
79			③外来種対策の推進	外来種リスト (ブラックリスト) の作成 (H27年度)	「奈良県外来種リスト」 (H28.3) を発行。令和6年3月暫定改訂版リストを作成。令和10年ごろに改訂版公表予定。
112	2. 第2の目標 生態系サービスの持続可能な利用	(2) 公共事業・地域開発・企業活動における生物多様性への配慮	①公共事業における配慮	公共事業における生物多様性配慮指針の策定 (H26年度)	策定に向けて関係各課が集まり議論を重ねましたが、諸事情により指針の策定には至りませんでした。
116			②地域開発における配慮	計画策定段階における計画変更が可能な「戦略的アセスメント」の導入 (H26年度)	日本型戦略的環境アセスメントとも呼ばれている計画段階配慮手続が環境影響評価法に導入されたのを契機として、奈良県環境影響評価条例を改正し、計画段階配慮書手続を導入しました (H27年度)。
116			③企業活動における配慮	企業の自然環境保全に関する社会貢献活動へのコーディネート件数 ：20件 (H29年度)	3件 (R4時点までの実績)。企業が県内で行う企業の森活動を県がコーディネートしました。
117			④生物多様性アドバイザーによる助言制度	生物多様性アドバイザーの登録人数 ：50人 (H29年度)	一般から募集するアドバイザーより高度なアドバイスを頂くため、専門性の高い有識者を希少野生動植物保護専門員(7名)、外来生物対策アドバイザー(6名)として委嘱し、開発案件の審査や保護、調査等に対し専門的助言を頂くほか、情報を必要とする研究者などに紹介を行っています。
124	4. 第4の目標 生物多様性を支える基盤づくり	(1) 県民意識の醸成		県民の「生物多様性」の認知度 ：45% (H23年度) →80% (H27年度)	県民アンケート (R4年度、統計分析課) ①内容を含めて詳しく知っている：3.3% ②ある程度知っている：14.6% ③言葉だけは知っている：32.0% 計：49.9% 回答件数：3,331件/7,000名
126		(3) 参画、連携、協働の充実		(仮称) 奈良生物多様性保全ネットワークに参画するNPOなどの数 ：50団体 (H27年度)	87団体 (R4年度)
126				生きものウォッチャーの登録人数 ：50人 (H29年度)	柔軟に活動していただくため、登録制にはしませんでした。電子申請方式で県民から情報提供して頂く「生き物情報調査」では、H25年4月～R6年3月までに約400件の情報提供を受け、奈良県版レッドデータブック改訂などに活用しております。
127		(4) 生物多様性センターの機能を持つ拠点の設置		生物多様性センター機能を持つ拠点の立ち上げ (H29年度)	令和6年度より、景観・自然環境課内に生物多様性係を新設し、生物多様性センターの登録を行いました。

「生物多様性なら戦略」

資料3. 生物多様性なら戦略に関連する数値目標

評価項目	数値目標	達成目標年度	出展
「生物多様性」認知度	80%	2035	生物多様性なら戦略
自然公園指導員数	60人	2035	生物多様性なら戦略
なら生物多様性保全ネットワーク構成団体数	90団体	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）
自然公園利用者数	16,000 千人／年	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）
森林における混交林事業実施面積	1,100ha	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）
環境にやさしい農業シンボルマークの認証	52団体	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）
環境負荷低減事業実施計画の認定推進	200件	2027	奈良県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画
奈良県森林環境管理士資格取得者数	40人	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）
奈良県森林環境管理作業士資格取得者数	50人	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）
林業の新規就業者数（2021～2025）	285人	2025	奈良県環境総合計画（2021-2025）

資料4. 生物多様性なら戦略 委員名簿

● 生物多様性なら戦略改定委員会 委員名簿（敬称略・委員50音順）

	氏名	職名等
会長	前田 喜四雄	奈良教育大学名誉教授
委員	井上 龍一	元 奈良教育大学附属小学校副校長 ・ R Project 代表
委員	尾上 聖子	元 大和高田市立高田中学校教諭
委員	細谷 和海	近畿大学名誉教授
委員	丸山 健一郎	大阪自然史センター理事
委員	宮武 頼夫	元 大阪市立自然史博物館 館長
委員	元吉 司	日本野鳥の会奈良支部 副支部長
生物多様性飛鳥地域 保全活動推進協議会	木村 史明	橿原市昆虫館専門官

● 奈良県自然環境保全審議会自然保護部会 委員名簿（敬称略・委員50音順）

	氏名	所属等	任期
部会長	北口 照美	元 奈良佐保短期大学教授	部会長 ~R5.12.25
部会長	岡崎 純子	大阪教育大学特任教授	部会長 R5.12.26~
委員	池田 慎久	県議会経済労働委員長	R6. 8.5 ~
委員	太田 敦	県議会経済労働委員長	R4.8.23 ~ R5.7.6
委員	片野 泉	奈良女子大学教授	
委員	小村 尚己	県議会経済労働委員長	R5.7.7 ~ R6.8.4
委員	小紫 雅史	生駒市長（市長会）	
委員	坂口 隆	環境省近畿地方環境事務所次長	~R5.12.25
委員	竹内 祐子	京都大学助教	R5.12.26~
委員	深町 加津枝	京都大学准教授	
委員	藤平 眞紀子	奈良女子大学教授	R5.12.26~
委員	松井 淳	奈良教育大学特任教授	~R5.12.25
委員	八元 綾	環境省近畿地方環境事務所次長	R5.12.26~

※改定作業期間中（令和4～6年度）に異動のあった委員のみ、任期を記載。

資料5. 生物多様性なら戦略案 検討の経過

○ 生物多様性なら戦略第1回改定委員会

開催日時：令和4年8月26日12時30分～15時

会場： 奈良県文化会館 集会室A B

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室

環境省近畿地方環境事務所

議事： ・次期生物多様性なら戦略のあり方について

○ 生物多様性なら戦略第2回改定委員会

開催日時：令和4年10月7日（金）12時30分～15時

会場： 奈良県文化会館 多目的室

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

議事： ・第IV章(1)に掲げた目標の達成状況について

・次期生物多様性なら戦略に搭載すべき項目について(目次の作成)

○ 生物多様性なら戦略第3回改定委員会

開催日時：令和4年11月25日（金）13時～15時

会場： アクティ奈良スタンダードルーム

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

議事： ・次期生物多様性なら戦略素案について

○ 生物多様性なら戦略第4回改定委員会

開催日時：令和5年1月13日（金）13時～15時

会場： アクティ奈良スタンダードルーム

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

議事： ・次期生物多様性なら戦略素案について

○ 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会

開催日時：令和5年3月17日（金）14時30分～15時

会場： 奈良県人権センター中研修室

出席者： 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会委員

議事： ・「生物多様性なら戦略」改定について（報告）

○ 環境省 令和5年度生物多様性地域戦略の策定推進支援業務 第1回ヒアリング

開催日時：令和5年10月16日(月) 13時30分～15時

会場： オンライン

出席者： 環境省生物多様性戦略推進室・環境省近畿地方環境事務所・いであ株式会社

議事： ・奈良県の地域の特徴やポテンシャル等の整理、支援内容について

○ 令和5年度 生物多様性なら戦略 第1回改定委員会

開催日時：令和5年10月25日(水) 13時～15時

会場： アクティ奈良スタンダードルーム

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

議事： ・次期生物多様性なら戦略本文案について

○ 環境省 令和5年度生物多様性地域戦略の策定推進支援業務 第2回ヒアリング

開催日時：令和5年11月8日(水) 10時～11時

会場： オンライン

出席者： 環境省生物多様性戦略推進室・いであ株式会社

議事： ・支援内容およびスケジュールの確認

○ 令和5年度 生物多様性なら戦略 第2回改定委員会

開催日時：令和5年12月1日(金) 13時～15時

会場： アクティ奈良スタンダードルーム

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

議事： ・次期生物多様性なら戦略本文案について

○ 環境省 令和5年度生物多様性地域戦略の策定推進支援業務 第1回現地打合せ

開催日時：令和5年12月11日(月) 13時～16時

会場： 景観・自然環境課会議室

出席者： 環境省生物多様性戦略推進室・環境省近畿地方環境事務所・いであ株式会社

議事： ・文化面・経済面からのポジティブチェック、改定案の構造の体系化

○ 令和5年度 生物多様性なら戦略 第3回改定委員会

開催日時：令和6年1月19日（金） 13時～15時

会場： アクティ奈良スタンダードルーム

出席者： 生物多様性なら戦略改定委員

議事： ・次期生物多様性なら戦略本文案について

○ 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会

開催日時：令和6年1月31日（水） 13時～15時

会場： 奈良県人権センター中研修室

出席者： 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会委員

議事： ・生物多様性なら戦略改定の進捗状況について（報告）

○ 環境省 令和5年度生物多様性地域戦略の策定推進支援業務 第2回現地打合せ

開催日時：令和6年2月6日（火） 13時～15時30分

会場： 景観・自然環境課会議室

出席者： 環境省生物多様性戦略推進室・環境省近畿地方環境事務所・いであ株式会社

議事： ・行動計画・推進体制等を中心とした改定案の確認

○ 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会

開催日時：令和6年12月23日（月） 13時～15時

会場： 奈良県人権センター中研修室

出席者： 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会委員

議事： ・生物多様性なら戦略（改定案）について（諮問）

資料6. 執筆協力者

本文「2. 奈良県の自然の魅力と課題 (1) 本県の自然の魅力 奈良の生きものたち」の執筆にご協力頂いた方々

哺乳類： 前田 喜四雄 氏 (奈良教育大学名誉教授)

鳥類： 元吉 司 氏 (日本野鳥の会奈良支部 副支部長)

爬虫類： 井上 龍一 氏 (元奈良教育大学附属小学校副校長・R Project 代表)

両生類： 井上 龍一 氏 (元奈良教育大学附属小学校副校長・R Project 代表)

魚類： 細谷 和海 氏 (近畿大学名誉教授)

昆虫類： 宮武 頼夫 氏 (元 大阪市立自然史博物館 館長)

植物： 尾上 聖子 氏 (元 大和高田市立高田中学校教諭)

菌類： 丸山 健一郎 氏 (大阪自然史センター理事)

資料7. 写真出典一覧 (1 / 3)

掲載ページ	写真	出展、提供者 (敬称略)
1	川	県 (奈良県景観資産)
	ため池	県(景観・自然環境課)
	山	県 (奈良県景観資産)
2	花	県(景観・自然環境課)
	鳥	元吉 司
	キノコ	河合 昌孝
3	ナミテントウ	櫻谷 保之
	西大台天然檜	田垣内 政信
	大台ヶ原 雲海	田垣内 政信
	日出ヶ岳山頂の紅葉	田垣内 政信
	大台ヶ原 夕焼け	田垣内 政信
	稲淵の棚田	県 (奈良県景観資産)
4	吉野山	県 (奈良県景観資産)
	陀羅尼助の丸薬	生物多様性なら戦略 (H25年3月)
5	ヤマトタマムシ	木村 史明
7	キレンゲショウマ	尾上 聖子
	ヤマトサンショウウオ	井上 龍一
11	城跡と奈良盆地が眺望できる郡山城天守台付近	県 (奈良県景観資産)
	奈良市上空から見た奈良県	県(景観・自然環境課)
13	大台ヶ原	田垣内 政信
	川上村 原生林	田垣内 政信
14	里山の風景 (桜井市)	県(景観・自然環境課)
	高城山の紅葉 (吉野町)	県(景観・自然環境課)
17	国土の約4割を占める里地里山は生物多様性保全上重要な地域	県 (奈良県景観資産)
19	ツキノワグマ	奈良県森林技術センター
	コマドリ	元吉 司
20	イカル	元吉 司
	タカチホヘビ	井上 龍一
21	ニホンインシガメ	井上 龍一
	オオダイガハラサンショウウオ	井上 龍一
22	ナガレヒキガエル	井上 龍一
	ヤマトイワナ (キリクチ)	井藤 大樹
23	ナガレホトケドジョウ	井藤 大樹
	アブラボテ	県
24	オオセンチコガネ	古山 暁
	ヒメボタル	丸山 健一郎
25	ルーミスシジミ	木村 史明
	トガサワラ	森本 範正
26	キイジョウロウホトトギス	尾上 聖子
	ヒガンバナ	尾上 聖子
	クマノザクラ	尾上 聖子
27	ムジナモ	尾上 聖子
	アケボノツツジ	尾上 聖子
28	カサゴケモドキ	尾上 聖子
	キリノミタケ	丸山 健一郎
29	ツリガネタケ	丸山 健一郎
	オオダイアシベニイグチ	丸山 健一郎
30	奈良公園のニホンジカ	県(景観・自然環境課)
31	ニホンジカによるイネの食害	県(農業水産振興課)

資料 7. 写真出典一覧 (2 / 3)

33	手入れの行き届いた人工林 施業放置林	県(森と人の共生推進課) 県(森と人の共生推進課)
34	奈良市川上町付近のナラ枯れ	丸山健一郎
37	アライグマ 家屋に侵入するアライグマ	県(農業水産振興課) 県(農業水産振興課)
38	クビアカツヤカミキリ 奈良県サクラ見守り隊ボランティア隊員講習会の様子	県(景観・自然環境課) 県(景観・自然環境課)
39	ミシシippアカミミガメ	環境省ホームページ (https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html#toku_ha)
	アルゼンチンアリ	砂村英力
	ヌートリア	丸山健一郎
	アメリカザリガニ	丸山健一郎
40	ヤマトサンショウウオ	井上龍一
41	ナゴヤダルマガエル	井上龍一
	ニッポンバラタナゴ_オス	森宗智彦
	ニッポンバラタナゴ_メス	森宗智彦
	コサナエ	谷村勇司
42	ヒメタイコウチ_オス	窪田敏
	ヒメタイコウチ_メス	窪田敏
	ヒメイノモトソウ	尾上聖子
43	オオミネイワヘゴ	尾上聖子
	ツグシガヤ	尾上聖子
	カツラギグミ	森本範正
44	キレンゲショウマ	尾上聖子
	カワゼンゴ(葉)	森本範正
	カワゼンゴ(花)	森本範正
45	ヤマトサンショウウオ生息調査	県(景観・自然環境課)
	地元住民話し合い	県(景観・自然環境課)
	モニタリング調査の様子	県(景観・自然環境課)
	ナゴヤダルマガエル	県(景観・自然環境課)
46	生息地での環境改善活動の様子	県(景観・自然環境課)
	モニタリング調査の様子	県(景観・自然環境課)
	小学生への普及教育	県(景観・自然環境課)
	生息地に繁茂していた外来種アマゾンチカガミの除去	県(景観・自然環境課)
	担い手育成プログラム参加の学生への個体譲渡および飼育方法の説明会	県(景観・自然環境課)
	保存のためのピオトープ	県(景観・自然環境課)
47	飼育下のヒメタイコウチ	県(景観・自然環境課)
	防鹿策の設置・修繕作業	県(景観・自然環境課)
	植物園での生息域外保全	県(景観・自然環境課)
48	自生地の調査	県(景観・自然環境課)
	基本方針 1	県(景観・自然環境課)
	基本方針 2	県(景観・自然環境課)
	基本方針 3	県(水資源政策課)
52	基本方針 4	県(景観・自然環境課)
	観察会	県(景観・自然環境課)
53	ゼミの羽化	丸山健一郎
54	榎原市昆虫館	榎原市昆虫館
54	森と水の源流館	森と水の源流館
55	木工工作体験	奈良県南部農林振興事務所
	希少な生きものの学習	県(景観・自然環境課)
	木の実などを使ったクラフト	奈良県立野外活動センター

資料 7. 写真出典一覧 (3 / 3)

56	奈良・人と自然の会	奈良・人と自然の会
57	虫いっぱい山里づくり隊	虫いっぱい山里づくり隊
58	山野草の里づくりの会	山野草の里づくりの会
59	「奈良県と近畿大学との包括的連携に関する協定書」に基づく研究協力 アルゼンチンアリ調査の様子	澤島 拓夫
60	野外活動	山原 美奈
	山菜採り	山原 美奈
63	県天然記念物「イワナの棲息地」 ヤマトイワナ（キリクチ）の生息する河川	井藤 大樹
	オオヤマレンゲ	田垣内 政信
64	吉野熊野国立公園：大蛇嶺	田垣内 政信
65	吉野熊野国立公園西大台利用調整地区	田垣内 政信
69	ホットスポット矢田丘陵周辺の里山と田園地帯	県(景観・自然環境課)
	希少種が生息する池の環境改善	県(景観・自然環境課)
71	クビアカツヤカミキリ被害の様子	県(景観・自然環境課)
74	①恒続林	県(森と人の共生推進課)
	②適正人工林	県(森と人の共生推進課)
	③自然林④天然林	県(森と人の共生推進課)
80	木工工作体験	山原 美奈
	焚火	木嶋 海智

※県の部署名は、2023 年度時点の名称

資料 8. 生物多様性を取り巻く用語解説

用語	解説
カーボンニュートラル	排出される二酸化炭素と、森林などによって吸収される二酸化炭素が同じ量であること。2020年に菅総理（当時）が2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言。
グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組
昆明・モントリオール生物多様性枠組（GBF）	2020年までの国際目標であった愛知目標に代わる、2021年以降の新たな国際目標。2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で採択。愛知目標では数値目標も盛り込んだターゲットが少なく、成果が測りにくかったことを反省点として、本枠組では30by30をはじめとしてより多くのターゲットに対して数値目標が掲げられている。
生物多様性条約	生物の多様性を「生態系」、「種」、「遺伝子」の3つのレベルで捉え、生物多様性の保全、その構成要素の持続可能な利用、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正な分配を目的とする条約。
生物多様性基本法	「生物多様性条約」の国内実施に関する包括的な法律として2008年に公布。生物多様性の保全および持続可能な利用についての基本原則を示すとともに、「生物多様性国家戦略」が法律に基づく戦略として位置付けられた。
自然共生圏	豊かな自然を有し水や食料を供給する地方と、その恩恵を受けてきた都市を、生態系サービスの需給でつながる地域として一体的にとらえた概念。
自然共生サイト	民間等の取組により結果的に生物多様性の保全に貢献している区域（企業緑地、里地里山、都市緑地）を環境省が自然共生サイトとして認定する仕組。2023年度より正式認定を開始
地域循環共生圏	地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカルSDGs事業）を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方。
ナッジ（そっと後押しする）	行動科学の知見の活用により、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取るように手助けする政策手法のこと
ネイチャーポジティブ	2020年をベースラインとして、2030年までに自然の損失を止め回復軌道に乗せること。
バイオマス	木材、食品廃棄物、家畜排せつ物、下水汚泥など、生物由来の有機性資源のこと。石油由来のエネルギー・製品をバイオマスで代替することで、二酸化炭素排出削減が可能となる
みどりの食料システム戦略	食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するために、農林水産省が2021年に策定した方針。「資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進」「イノベーション等による持続的生産体制の構築」「ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立」「環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進」から、雇用の増大・地域所得の向上・豊かな食生活の実現を目指す。
レジリエンス	自然災害や気候変動などに対して、社会的システムや生態的システムが回復する力を示す概念のこと
ABS	遺伝資源へのアクセスと公正かつ衡平な利益配分のこと
Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）	グリーンインフラの概念の中でも特に防災・減災に注目し、健全な生態系が有する防災・減災機能を積極的に活用して災害リスクを低減させるという考え方
ESG投資	環境（Environment）・社会（Social）、企業統治（Governance）の3つの要素を考慮して行う投資。企業はESGに配慮した経営を行うことで、安定した投資の確保はもちろん、企業価値の向上や同業他社との差別化による競争の強化に加え、消費者へのアピールなどのメリットがある。
NbS（自然を活用した解決策）	自然が有する機能を持続可能に利用し、多様な社会的課題の解決につなげる考え方のこと
OECM	保護地域以外の生物多様性保全に資する地域のこと。日本独自の基準の自然共生サイト認定地の一部は、OECMとして国際データベースに登録され、30by30に組み込まれる
SDGs	2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを宣言。
30by30	2030年までに陸域の30%と海域の30%を保全・保護を目指す目標のこと。国は30by30ロードマップを公表（R4.3）

資料9. 昆明・モンリオール生物多様性枠組の概要

昆明・モンリオール生物多様性枠組

2050年ビジョン：自然と共生する世界

2050年ゴール (4つの状態目標)	A	生態系の健全性、廉潔性、レジリエンスの維持・強化・回復。自然生態系の面積増加 ・人による絶滅の阻止、絶滅率とリスクの削減。在来野生種の個体数の増加 ・遺伝的多様性の維持、適応能力の保護
	B	生物多様性が持続可能に利用され、自然の寄与（NCP）が評価・維持・強化
	C	遺伝資源、デジタル配列情報（DSI）、遺伝資源に関連する伝統的知識の利用による利益の公正かつ衡平な配分と 2050年までの大幅な増加により、生物多様性保全と持続可能な利用に貢献
	D	年間7,000億ドルの生物多様性の資金ギャップを徐々に縮小し、枠組実施のための十分な実施手段を確保

2030年ミッション：自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させるための緊急行動をとる

2030ターゲット

(1) 生態系への脅威を減らす

- すべての地域を参加型・統合的で生物多様性に配慮した空間計画下及び/又は効果的な管理プロセス下に置く
- 劣化した生態系の30%の地域を効果的な回復下に置く
- 陸と海のそれぞれ少なくとも30%を保護地域及びOECMにより保全（30 by 30目標）
- 絶滅リスクを大幅に減らすために緊急の管理行動を確保、人間と野生生物との軋轢を最小化
- 乱獲を防止するなど、野生種の利用等が持続的かつ安全、合法的なものにする
- 侵略的外来種の導入率及び定着率を50%以上削減
- 環境中に流出する過剰な栄養素の半減、農業及び有害性の高い化学物質による全体的なリスクの半減、プラスチック汚染の防止・削減
- 自然を活用した解決策/生態系を活用したアプローチ等を通じた、気候変動による生物多様性への影響の最小化

(2) 人々のニーズを満たす

- 野生種の管理と利用を持続可能なものとし、人々に社会的、経済的、環境的な恩恵をもたらす
- 農業、養殖業、漁業、林業地域が持続的に管理され、生産システムの強靱性及び長期的な効率性と生産性、並びに食料安全保障に貢献
- 自然を活用した解決策/生態系を活用したアプローチを通じた、自然の寄与（NCP）の回復、維持、強化
- 都市部における緑地・親水空間の面積、質、アクセス、便益の増加、及び生物多様性を配慮した都市計画の確保
- 遺伝資源及びデジタル配列情報（DSI）に係る利益配分の措置をとり、アクセスと利益配分（ABS）に関する文書に従った利益配分の大幅な増加を促進

(3) ツールと解決策

- 生物多様性の多様な価値を、政策・方針、規制、計画、開発プロセス、貧困撲滅戦略、戦略的環境アセスメント、環境インパクトアセスメント及び必要に応じ国民動員に統合することを確保
- 事業者（ビジネス）が、特に大企業や金融機関等は確実に、生物多様性に係るリスク、生物多様性への依存や影響を評価・開示し、持続可能な消費のために必要な情報を提供するための措置を講じる
- 適切な情報により持続可能な消費の選択を可能とし、食料廃棄の半減、過剰消費の大幅な削減、廃棄物発生的大幅削減等を通じて、グローバルフットプリントを削減
- バイオセーフティのための措置、バイオテクノロジーの取り扱いおよびその利益配分のための措置を確立
- 生物多様性に有害なインセンティブ（補助金等）の特定、及びその廃止又は改革を行い、少なくとも年間5,000億ドルを削減するとともに、生物多様性に有益なインセンティブを拡大
- あらゆる資金源から年間2,000億ドル動員、先進国から途上国への国際資金は2025年までに年間200億ドル、2030年までに年間300億ドルまで増加
- 能力構築及び開発並びに技術へのアクセス及び技術移転を強化
- 最良の利用可能なデータ、情報及び知識を、意思決定者、実務家及び一般の人々が利用できるようにする
- 女性及び女兒、子ども及び若者、障害者、先住民及び地域社会の生物多様性に関連する意思決定への参画を確保
- 女性及び女兒の土地及び自然資源に関する権利とあらゆるレベルで参画を認めることを含めたジェンダーに対応したアプローチを通じ、ジェンダー平等を確保

実施支援メカニズム及び実現条件／責任と透明性（レビューメカニズム）／広報・教育・啓発・取り込み

資料 10. 生物多様性国家戦略 2023-2030 の概要



資料 1 1. 生物多様性を学べる施設一覧 (1/3)

	施設名	所在地	概要
奈良県	橿原市昆虫館	橿原市南山町624	『見て、聞いて、触って、感じる昆虫館』をテーマに子供から大人まで楽しめる昆虫館。昆虫が生息する環境を再現し、その生態を楽しみながら観察できる生態展示室等がある。
	森と水の源流館	吉野郡川上村迫590-2	自然や環境、生き物たち、いにしえからの人々の暮らしなどにふれ、源流とは何か、私たちの暮らしとどんな関係があるのか等を学ぶことができる。
	洞川エコミュージアムセンター	吉野郡天川村大字洞川784-32	自然と水と修験道をテーマとした、吉野熊野国立公園・大峯の自然を体験できる資料館。
	大台ヶ原ビジターセンター	奈良県吉野郡上北山村小椽660-1	吉野熊野国立公園を訪れた方々に、大台ヶ原の自然や文化及び利用方法などについて情報提供を行うとともに、自然観察会などの自然教育活動を行う拠点施設。
	21世紀の森・紀伊半島森林植物公園	奈良県吉野郡十津川村小川112-1	紀伊半島に自生する樹木や植物を集めた樹木見本園や自然林を含む約200haの広さを誇る。村の花石楠花（シャクナゲ）を世界中から集めた「世界の森」がある。
大阪府	大阪市立自然史博物館	大阪市東住吉区長居公園1-23	人間をとりまく「自然」について、その成り立ちやしくみ、その変遷や歴史を、展示や普及活動、研究を通して広く伝えている。「身近な自然」「地球と生命の歴史」「生命の進化」「生き物のくらし」と題した4つの常設展示室、そして特別陳列や特別展を通して展示すると共に、年間80～100回程度開催される様々な観察会や講演会などが行われている。
	大阪府立花の文化園	大阪府河内長野市高向2292-1	花そのものの美しさだけでなく、日本をはじめ多くの国で育まれてきた、花に関係する様々な文化も楽しむことができる施設。
	天王寺動物園	大阪市天王寺区茶臼山町1-108	100年以上の長い歴史を持つ動物園。生態的展示を取り入れ、様々な生き物が暮らす自然環境を感じることができる。
	海遊館	大阪市港区海岸通1-1-10	「地球とそこに生きるすべての生き物は、互いに作用しあう、ひとつの生命体である。」という考えに基づき、環太平洋の自然環境をテーマとした水族館。常設展示、企画展のほか、ガイドツアーやワークショップ等も実施されている。
	ニフレル	大阪府吹田市千里万博公園2-1	「多様性」をテーマに、生きもの個々にフォーカスを当てています。「色彩の多様さ」「行動の多様さ」「形態の多様さ」など、生きものが持つ多彩な個性をテーマ別にして、その魅力を直感的にわかりやすく展示している。
	咲くやこの花館	大阪市鶴見区緑地公園2-163	「自然と人間との共生」をテーマに、熱帯から極地圏までの地球上のさまざまな気候帯に分布する植物を配置し、栽培展示している。分類、進化、気候と形態、文化、有用性、栽培など植物の重要な分野が学べる。
	貝塚市立自然遊学館	大阪府貝塚市二色3丁目26-1	貝塚市の自然を紹介する小さな博物館。生体展示が多く、貝塚市の海や川、里山などにすむ生きもの、身近な生きものが中心となっている。
	きしわだ自然資料館	大阪府岸和田市堺町6番5号	岸和田を中心とした大阪南部・泉州地域（＝郷土）の自然に関する実物や、さまざまな情報・知識を紹介する展示をしている。
	高槻市立自然博物館	大阪府高槻市南平台5丁目59番1号	高槻の自然に関する資料を収集、保存し、展示している博物館。生き物たちの生態展示や標本展示とともに、講座や観察会などを開催している。鳥類のはく製は関西一を誇る。

資料 1 1. 生物多様性を学べる施設一覧 (2/3)

	施設名	所在地	概要
京都市	京都市青少年科学センター	京都市伏見区深草池ノ内町13番地	100点を超える体験型の展示品をとおして、楽しみながら理科・科学を学べる。子供たちが実際に物に触れ、体を通して体感し、科学を感覚的に理解でき、面白おかしく理科に触れ合えるように工夫がされている。
	京都府立植物園	京都市左京区下鴨半木町	キノウテンガイやパオパブなど世界の熱帯植物が身近に観賞でき、規模、植栽植物の種類ともに日本最大級の温室がある。園内唯一の自然林である半木（なからぎ）の森や日本各地の山野に自生する植物をできるだけ自然に近い状態で植栽した植物生態園、およびその周辺には、わが国の風土に育まれ、古くから栽培されてきた桜、梅、花菖蒲などの園芸植物や竹笹、針葉樹などを植栽した日本の森として、より自然的な景観を形づくっている。
	京都市動物園	京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内	明治36年（1903年）4月1日に大正天皇のご成婚を記念して、市民の寄付金を基に全国で2番目に開園した動物園。ツシマヤマネコやイチモンジタナゴ等の希少野生動植物の繁殖に力を入れている。
	京都水族館	京都市下京区観喜寺町35-1	森や芝生が広がる梅小路公園の中にある、いきものや自然とのつながりを深く感じられる水族館。古代から生息するオオサンショウウオの展示、里山の再現など、京都の水の恵みによるいのちの共生も、京都水族館の大切なテーマ。
	京都大学総合博物館	京都市左京区吉田本町	日本で一番古い大学博物館。常設展示は「自然史」「技術史」「文化史」の3つに分かれており、京都大学が保管している学術資料が展示されている。
滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	滋賀県草津市下物町1091	琵琶湖の生き物や暮らしとの関わりなどを体感し、学ぶことができる。湖の生い立ち、人々の歴史、自然と私たちの暮らしの展示をはじめ、湖の生き物の生きた姿を見ることのできる水族展示もあわせて、全国的にもめずらしい総合博物館。
	多賀町立博物館	滋賀県犬上郡多賀町四手976-2	滋賀県多賀町とその周辺の自然や人々の文化をテーマにした総合博物館。180万年前のアケボノゾウや、約3万年前のナウマンゾウの化石、2億8000万年前の海の生き物の化石や現在の動植物、石灰岩の洞くつの生き物、本物と同じ作り方で再現された仏像など、多賀町の豊かな自然から生まれた実物標本を中心とした展示が特徴となっている。
滋賀県	湖北野鳥センター 琵琶湖水鳥・湿地センター	滋賀県長浜市湖北町今西	野鳥観察を通して湖北の自然の豊かさや素晴らしさを学ぶことができる体験型の観察施設。四季を通してたくさんの野鳥が飛来し、観察できる。
	高島市新旭水鳥観察センター	滋賀県高島市新旭町 饗庭1600-1	高島市は滋賀県内でも特に鳥が多い地域。冬には1000羽近くに水鳥が集う。ギャラリー・展示、ライブラリーを備え、ガイドウォークも行われている。
	草津市立水生植物公園みずの森	滋賀県草津市下物町1091番地	植物と人、水と人のふれあい」がテーマ。熱帯スイレンを中心とした国内外の水生植物を観察できる。

資料 1 1. 生物多様性を学べる施設一覧 (3/3)

	施設名	所在地	概要
兵庫 県	兵庫県立人と自然の博物館	兵庫県三田市弥生が丘6丁目	「人と自然の共生」をテーマとした自然史系の博物館。9つのセクションからなる常設展示のほか、期間限定の企画展示や市民団体による展示会等を開催。化石クリーニングの様子がみれる「恐竜ラボ」やワークショップが行われる「ひとくサロン」、広大な芝生広場のある「深田公園」がある。
	兵庫県立六甲山ビジターセンター・六甲山ガイドハウス	神戸市灘区六甲山町北六甲4512-270	瀬戸内海国立公園六甲山地区を訪れる人たちに対して、山の歴史、自然や生き物について、映像やパネル・剥製などで紹介しているほか、休憩や研修の場としても利用できる。
	西宮市立甲山自然環境センター・甲山学習館	兵庫県西宮市甲山町67番地	甲山の成り立ち、四季折々の生き物や植物、エコハウスでの自然の恵みを生かした住まい方など環境学習・自然学習に役立つ情報を発信している。
	西宮市貝類館	西宮市西宮浜4-13-4	西宮の自然から世界の貝に至る16のテーマに沿って約2000種、5000点の貝の標本を陳列し、大型パネルで解説しているほか、ワークショップや講座などの館内イベントや野外観察会が行われています。
	姫路市伊勢自然の里・環境学習センター	兵庫県姫路市林田町大堤615番地	楽しみながら「生物多様性」を肌で感じることでできる体験型の環境学習施設。講義室の展示では、自然環境が年々変化し、たくさんの生きものが姿を消したり希少となったりしていることに触れ、自然の恵みを理解し受け継いでいくことの大切さを伝えている。
	伊丹市昆虫館	伊丹市昆陽池3-1昆陽池公園内	生きた昆虫や標本の展示をはじめ、体験型の特別展や個性的な企画展を数多く開催して、昆虫の魅力を紹介している。
	神戸市立王子動物園	神戸市灘区王子町3-1	動物エリアにはゾウ・猛獣エリア、草食動物エリア、は虫類・夜行性動物エリアなどの他、生き物と触れ合える「動物とこどもの国」があり、遊びながら動物の不思議を学ぶ「動物科学資料館」もある。
	青垣いきものふれあいの里	兵庫県丹波市青垣町山垣2115-6	身近な自然の中で野鳥や昆虫などの小動物及び植物の観察を通じて自然の大切さやかわり方を学ぶ施設。
和歌 山 県	和歌山県立自然博物館	和歌山県海南市船尾370-1	豊かで美しい和歌山県の自然を紹介する施設として水にすむ生き物を水槽で展示。動植物、昆虫、貝、化石、鉱物などの標本を展示、收藏し、興味を持って楽しみながら学習できる。
	太地町立くじらの博物館	和歌山県東牟婁郡太地町太地2934-2	クジラ専門の博物館として世界一のスケールを誇る。鯨の生態や捕鯨に関する資料などおよそ1,000点に及ぶ貴重なものが展示されており、わが国捕鯨発祥の地として昔から現代までのおよそ400年の歴史を学べる。
	吉野熊野国立公園宇久井ビジターセンター	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町宇久井830番地	吉野熊野国立公園の優れた自然とのふれあいを通して自然への理解と自然を大切にすることを育てる事を目的に、環境省が設置した施設。写真、展示模型、生物標本展示等による自然情報の提供、自然観察会等の自然ふれあい行事や、自然をテーマとした講演会や写真展等を実施。
	京都大学白浜水族館	和歌山県西牟婁郡白浜町459	和歌山の海の豊かさが見られる京都大学が運営する水族館。展示されている約500種の生き物はすべて紀伊半島の海にいたものだけという、こだわりの展示が特徴。

資料 1 2. 奈良県の天然記念物（生き物関係）（1/2）

指定	所在地（市町村）	区分	フリガナ 名称	指定年月日
国	奈良県	特別天然記念物（動物）	オオサンショウウオ オオサンショウウオ	昭和26.6.9 昭和27.3.29 (特別天然記念物指定)
国	奈良県	特別天然記念物（動物）	カモシカ カモシカ	昭和9.5.1 昭和30.2.15 (特別天然記念物指定)
国	奈良市	特別天然記念物（植物）	カスガヤマゲンシリン 春日山原始林	大正13.12.9 昭和30.2.15 (特別天然記念物指定)
国	奈良県	天然記念物（動物）	ヤマネ ヤマネ	昭和50.6.26
国	吉野郡吉野町	天然記念物（植物）	イモヤマジュソウ 妹山樹叢	昭和3.3.24
国	吉野郡天川村・大塔村	天然記念物（植物）	オオヤマレンゲセイテ オオヤマレンゲ自生地	昭和3.2.7
国	宇陀郡大宇陀町	天然記念物（植物）	カザグルマセイテ カザグルマ自生地	昭和23.1.14
国	奈良市春日野町	天然記念物（植物）	カスガジンジャケイダイナギジュリン 春日神社境内ナギ樹林	大正12.3.7
国	吉野郡川上村	天然記念物（植物）	サンノコウガワトガサワラゲンシリン 三ノ公川トガサワラ原始林	昭和4.12.17
国	吉野郡上北山村	天然記念物（植物）	シシラングンラク シシラン群落	昭和7.4.19
国	奈良市雑司町	天然記念物（植物）	チソクインナラノヤエザクラ 知足院ナラノヤエザクラ	大正12.3.7
国	吉野郡東吉野村	天然記念物（植物）	ニウカワカミナカシャノツルマンリョウセイテ 丹生川上中社のツルマンリョウ自生地	昭和32.5.8
国	奈良市	天然記念物（植物）	ハヤマスズラングンラク 吐山スズラン群落	昭和5.11.19
国	五條市二見町	天然記念物（植物）	フタミノオオムク 二見の大ムク	昭和32.5.8
国	吉野郡上北山村・天川村	天然記念物（植物）	フッキョウガタケゲンシリン 仏経嶽原始林	大正11.10.12
国	宇陀市	天然記念物（植物）	ムコウジスズラングンラク 向淵スズラン群落	昭和5.11.19
国	宇陀市	天然記念物（植物）	ムロウザンダンチセイシダグンラク 室生山暖地性シダ群落	昭和3.11.30
国	宇陀市	天然記念物（植物）	ヤツフサスキ ハツ房スギ	昭和7.4.25
国	桜井市初瀬	天然記念物（植物）	ヨササンダインリン 与喜山暖帯林	昭和32.12.18
国	奈良市	天然記念物（動物）	ナラノシカ 奈良のシカ	昭和32.9.18
国	奈良市春日野町	天然記念物（動物）	ルーミスジミセイソクチ ルーミスジミ生息地	昭和7.3.25
県	奈良市	天然記念物（動物）	トウダイジカガミイケセイソクワタカ 東大寺鏡池棲息ワタカ	昭28.3.23
県	奈良市	天然記念物（植物）	クスノキョジュ 樟の巨樹	昭26.11.1
県	奈良市	天然記念物（植物）	ショウリヤクジケイダイノコジイリン 正暦寺境内のコジイ林	平5.3.5
県	奈良市	天然記念物（植物）	ゴシキツバキ 五色椿	昭32.6.13
県	奈良市	天然記念物（植物）	ハチマンジンジャシャソウ 八幡神社社叢	平20.3.28
県	奈良市	天然記念物（植物）	ハヤマノヒダリマキガヤ 吐山の左巻藪	昭28.3.23
県	天理市	天然記念物（植物）	イソノカミジングウシャソウ 石上神宮社そう	平7.3.22
県	天理市	天然記念物（動物）	イソノカミジングウカガミイケセイソクワタカ 石上神宮鏡池棲息ワタカ	昭28.3.23
県	天理市	天然記念物（植物）	シモノボウ 下之坊の大スギ	令2.3.6
県	桜井市	天然記念物（植物）	ソテツノキョジュ ソテツの巨樹	昭32.6.13
県	桜井市	天然記念物（植物）	ジョウキョウウジキョウケイダイアスナロノグンラク 浄鏡寺旧境内のアスナロの群落	昭36.3.14
県	桜井市	天然記念物（植物）	ハセノイチヨウノキョジュ 初瀬のイチヨウの巨樹	昭49.3.26
県	桜井市	天然記念物（植物）	オハツキイチョウ お葉つきイチョウ	昭52.3.22
県	桜井市	天然記念物（植物）	タキラジングウシャソウツケタリシダレザライッポン 瀧蔵神社社そう 附 シダレザクラ 1本	昭63.3.22
県	五條市	天然記念物（植物）	ヘラノキ 篋の木	昭28.3.23
県	五條市	天然記念物（植物）	ヤマモモノキョジュ ヤマモモノの巨樹	昭34.2.5
県	五條市	天然記念物（植物）	フクジュソウノジセイテ ふくじゅ草の自生地	昭48.3.15
県	御所市	天然記念物（植物）	オオカウスギ 大川杉	昭58.3.15
県	生駒市	天然記念物（植物）	イコマタイシャノシャソウ 往馬大社の社そう	平10.3.20

資料 1 2. 奈良県の天然記念物（生き物関係）(2/2)

県	香芝市	天然記念物（植物）	シズミジンジャノシャソウ 志都美神社の社そう	平8. 3. 22
県	葛城市	天然記念物（植物）	フェフキジンジャイテイガシリン 笛吹神社イテイガシリン	昭62. 3. 10
県	宇陀市	天然記念物（植物）	シブナシガヤ 無渋樫	昭32. 6. 13
県	宇陀市	天然記念物（植物）	カイチヨウジノオハツキイチョウ 戒長寺のお葉つきイチョウ	昭53. 3. 28
県	宇陀市	天然記念物（植物）	カイバシジンジャノホオノキノキョジュ 戒場神社のホオノキの巨樹	昭53. 3. 28
県	宇陀市	天然記念物（植物）	ミイジンジャケイダイノツルマンリョウグンラク 御井神社境内のツルマンリョウ群落	昭28. 3. 23
県	宇陀市	天然記念物（植物）	タカノセンボンスギ 高井の千本杉	昭56. 3. 17
県	宇陀市	天然記念物（植物）	ウチマキノシブナシガヤ 内牧の無渋樫	昭56. 3. 17
県	宇陀市	天然記念物（植物）	ハジヨウジケイダイノツルマンリョウジセイチ 初生寺境内のツルマンリョウ自生地	昭57. 3. 12
県	宇陀市	天然記念物（植物）	フツリユウジノサクラノキョジュ 仏隆寺のサクラの巨樹	昭58. 3. 15
県	山添村	天然記念物（植物）	コウノジケイダイノニジリン 神野寺境内の二次林	平9. 3. 21
県	斑鳩町	天然記念物（植物）	ソテツノキョジュ ソテツの巨樹	昭32. 6. 13
県	田原本町	天然記念物（植物）	クスノキョジュ 樟の巨樹	昭33. 3. 20
県	田原本町	天然記念物（植物）	ムラヤニイマスヤトミミヤコヒメジンジャノシャソウ 村屋坐弥富都比売神社の社そう	昭58. 3. 15
県	曾爾村	天然記念物（植物）	オハツキイチョウ 御葉付イチョウ	昭32. 6. 13
県	曾爾村	天然記念物（植物）	ヒダリマキガヤグンラク ヒダリマキガヤ群落	昭32. 6. 13
県	御杖村	天然記念物（植物）	コウズエノカヤノキョボクリン 神末のカヤの巨木林	平17. 3. 29
県	吉野町	天然記念物（植物）	ニシタニガワリョウウイキダンチセイシダシヨクブツグンラク 西谷川流域暖地性羊歯植物群落	昭28. 3. 23
県	吉野町	天然記念物（植物）	ツプロジンジャノサカキカズラ 津風呂神社のサカキカズラ	昭28. 3. 23
県	吉野町	天然記念物（植物）	ヤマグチノツルマンリョウグンラク 山口のツルマンリョウ群落	昭28. 3. 23
県	吉野町	天然記念物（植物）	コウヤマキグンラク コウヤマキ群落	昭32. 6. 13
県	吉野町	天然記念物（植物）	サクラモトボウノギンモクセイ 桜本坊のギンモクセイ	昭42. 11. 25
県	吉野町	天然記念物（動物）	イワツバメノエトウチ イワツバメの越冬地	昭48. 3. 15
県	下市町	天然記念物（植物）	ヒロハシノオハツキイチョウ 広橋の御葉付イチョウ	昭49. 3. 26
県	天川村	天然記念物（植物）	リュウセンジノシゼンリン 龍泉寺の自然林	昭62. 3. 10
県	天川村	天然記念物（動物）	イワタノセイソクチ イワタの棲息地	昭37. 6. 7
県	天川村	天然記念物（動物）	イワツバメノエトウチ イワツバメの越冬地	昭48. 3. 15
県	天川村	天然記念物（植物）	ツボノウチノイチョウノキョジュ 坪内のイチョウの巨樹	昭49. 3. 26
県	野迫川村	天然記念物（動物）	イワタノセイソクチ イワタの棲息地	昭37. 6. 7
県	十津川村	天然記念物（植物）	スギノキョジュグン 杉の巨樹群	昭34. 2. 5
県	下北山村	天然記念物（植物）	ゼンキノトチノキョジュグン 前鬼のトチノキ巨樹群	平13. 3. 30
県	川上村	天然記念物（植物）	カワノリ かわのり	昭29. 3. 2
県	川上村	天然記念物（動物）	オオダイガハラサンシヨウウオ 大台ヶ原さんしょう魚	昭29. 3. 2
県	川上村	天然記念物（植物）	ジュウニシャジンジャシャ 十二社神社社そう	昭60. 3. 15
県	川上村	天然記念物（植物）	ケグワ ケグワ	平12. 3. 31
県	川上村	天然記念物（植物）	ミセバヤ ミセバヤ	令3. 3. 12
県	東吉野村	天然記念物（植物）	エンカクジノギンモクセイノキョジュ 円覚寺のギンモクセイの巨樹	昭29. 3. 2
県	東吉野村	天然記念物（植物）	ハチマンジンジャケイダイノツルマンリョウグンセイチ 八幡神社境内のツルマンリョウ群生地	昭49. 3. 26